

大山の森だより

2022年春号

和風月名と花

日本の旧暦では、和風月名(わふうげつめい)と呼ばれる月の名を使用していました。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦でも使用されることがありますが、現在の季節感とは1~2ヶ月ほどのずれがあります。

旧暦3月の和風月名は弥生(やよい)。現在の4月ごろです。唱歌「さくら」で「弥生の空に」と歌われる桜が咲く月です。木草(きくさ)弥(いや)生(お)ひ茂る月が語源とか。弥(いや)とは「いよいよ」とか「ますます」という意味です。

旧暦の4月は卯月(うづき)。現在の5月ごろで、うのはな=うつぎの花が咲く月を言いました。卯月の「う」は、初・産(うぶ)が変化したという説もあります。卯月(うづき)から暦の上で夏が始まります。

旧暦5月は皐月(さつき)。現在の6月ごろに当たり、梅雨の始まる月です。五月雨(さみだれ)とは梅雨を指す言葉で、五月晴れ(さつきばれ)とは梅雨の晴れ間を指す言葉です。



「さつき」の「さ」とは、田の神・稲霊(いなだま)を指すという説があります。さの神とも呼ばれ、冬は山にいて、春になると里へ下りてきます。さの神が宿る木をさくら(さ座)と呼んだそうです。

桜もうつぎも、古くは花付きからその年のお米の豊凶を占った植物です。大山の桜に関しては2018年の大山の森だより春号で特集しましたので、今号では大山のうつぎについて紹介します。



冬期 自然ふれあい事業 活動報告

○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝)

開催日: 1月9日(日)



気温が高めで、巨大な岩壁に張り付くシャンデリアのようなつらは見られませんでした。森の中でさまざまな生き物や植物を観察できました。

※新型コロナウイルス・オミクロン株の流行により、1月30日に予定しておりました「幻の御旅所から絶景を見るスノーシューツアー」と、2月13日に予定しておりました「スノーシューで行く 願掛け地藏へ願いを込めに」は、中止しました。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。裏面にイベント情報を掲載しています。



ウツギと呼ばれる植物

ウツギは漢字で空木と書きます。茎が中空になった樹木の総称で、いろいろな科の植物が含まれます。大山でよく見られるウツギと呼ばれる植物を集めてみました。



大山北壁とノリウツギ



ウツギ【アジサイ科】

ウツギは北海道から九州、奄美大島まで自生地の分布域が広く、昔は畑など耕作地の境界木としてよく植えられてきました。小学唱歌で知られる、「夏は来ぬ」に唄われている「卯の花」(ウノハナ)とは本種を指します。歌詞では「卯の花の匂う垣根に」とありますが、香りはありません。歌詞の「匂う」とは古典的な用法で、美しく映えるという意味です。※別種のバイカウツギは良い香りがします。

花の時期は5月中旬から6月上旬で、「卯月」(旧暦の四月)に咲くことから、万葉集の時代はウノハナと呼ばれてきました、ウツギと呼ばれるようになったのは平安時代からです。

山陰では稲作と関係が深く、サオトメウツギとかタウエバナと呼ばれていました。立春から数えて88日目の八十八夜(2022年は5月2日)に、苗代や本田の水口(みなくち=田へ水を引くゲート)に、豊作を祈ってウツギの枝を立てる地域もあったようです。



タニウツギ【スイカズラ科】

タニウツギは北海道の西側と本州の日本海側に分布し、和名の由来は谷などに多く自生していることによります。樹高は2~5m。花期は5~6月でウツギより先に咲きます。花は紅色から淡紅色で、花冠の先端ほど紅色が薄くなります。美しい花ですが、カジバナとも呼ばれ、庭に植えることや家に飾ることを禁忌されていた地方もありました。タニウツギにはたくさんの方言があり、山陰ではウツギと同じくサオトメウツギ、タウエバナと呼ばれることもあったそうです。



ノリウツギ【アジサイ科】

山地の林縁などに自生する樹高が2~5m くらいになる低木です。和紙を漉く際に樹液を糊として利用したためこの名がつけました。花期は7~9月で、枝の先に白色の小さな両性花が円錐状に多数つき、その中に花弁4枚の装飾花が混ざります。東北地方ではサビタと呼ばれ、俳句では夏の季語です。



コゴメウツギ【バラ科】

低山の道端や林の縁に見付けることができる低木です。ウツギの花が咲く頃(5~6月)に、小米(=砕けた米)のような小さな白花を付けることからコゴメウツギと名付けられました。花がウツギっぽいだけで茎は中空ではありません。

その他:コガクウツギ(アジサイ科)、ツクバネウツギ(スイカズラ科)、ミツバウツギ(ミツバウツギ科)

ホトギスとウノハナ(ウツギ)



ホトギスは自分で子育てをせず、ウグイスなどに托卵する習性で知られる夏鳥です。オスはけたたましい声で、「キョッキョッ キョッキョッキョ!」と鳴き、この鳴き声の聞きなしとして「特許許可局」や「テッペンカケタカ」が知られています。実はホトギスという名前もこの鳴き声の聞きなしだとか!

古くから夏の到来を知らせる鳥として親しまれてきました。

ウツギ(ウノハナ)が咲く5~6月ごろに中国南部や東南アジアから飛来するので、万葉集の時代からホトギスとウツギ(ウノハナ)はセットで多く歌に詠まれています。

「五月山(さつきやま) 卯の花月夜(づくよ) 霍公鳥(ほととぎす)



聞けども飽かず また鳴かぬかも」 万葉集 作者不明

意味:「5月の山で、卯の花の咲く美しい夜に聞くホトギスの声は、
幾度聞いても飽きないなあ、また鳴かないかなあ」

「卯(う)の花の 咲き散る岡ゆ 霍公鳥(ほととぎす)



鳴きてき渡る 君は聞きつや」 万葉集 作者不明

意味:「卯(う)の花が咲き散る岡を通して、霍公鳥(ほととぎす)が
鳴き渡りましたよ。あなたは聞きましたか?!」

ホトギスは飛びながら鳴いたり、夜に鳴いたりする習性があります。昔の人も知っていたんですね。

唱歌の「夏は来ぬ」でも卯の花と時鳥(ほととぎす)がいっしょに歌われています。

唱歌「夏は来ぬ」 作詞:佐々木信綱 作曲:小山作之助
「卯の花の 匂う垣根に 時鳥(ほととぎす) 早も来鳴きて
忍音(しのびね)もらす 夏は来ぬ」

忍音(しのびね)とはその年に初めて聞くホトギスの鳴き声をいい、縁起物として珍重したそうです。

ホトギスには、杜鵑、杜宇、蜀魂、不如帰、時鳥、子規、田鵲など、多数の漢字表記や異名があります。それぞれ面白い由来なので興味があれば調べてみてください。



コラム:ヤマホトギスとヤマジノホトギス

ホトギスという植物もあります。名前の由来は花の模様が鳥のホトギスのおなかの模様に似ているから。大山にはヤマホトギスとヤマジノホトギスの2種類が自生しています。どちらもユリ科ホトギス属の多年草で、秋に花が咲き、よく似ています。花はマルハナバチの受粉に特化した独特な形をしています。

ーイベント情報（4月～7月）ー



■自然公園財団のイベント

<p>○大山寺 寂静山周辺の知られざる遺跡を巡る 開催日：4月16日(土) 9:00～12:00頃 会場：寂静山周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>大山は地蔵菩薩を信仰の中心にしているため、お地蔵さまがそこかしこに見られます。しかし観音菩薩も大山の重要な仏さまでした。大山唯一の石の観音菩薩像を探しに寂静山の知られざる遺跡を巡ります。 定員：15名 歴史探訪</p>
<p>○西明院谷 花言葉から探す 春の花観察会 開催日：5月15日(日) 9:00～12:00頃 会場：阿弥陀堂周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>木々の青葉が美しい5月。大山の森で咲く花々を、花言葉を頼りに探してみましょ。花言葉から花と人のかかわりを、また花の色や形から花と虫のかかわりを探ります。春の花々がたくさん見れますよ。 定員：15名 自然観察</p>
<p>○榎水高原 旅するチョウ「アサギマダラ」観察会 開催日：6月11日(土) 9:00～12:00頃 会場：伯耆町 榎水高原 集合場所：ますみず天空リフト下 駐車場 参加費：1500円</p>	<p>榎水高原の森は旅する蝶「アサギマダラ」の群れが観察できる知られざる名所。足元から大型の青い蝶がフワフワと舞い立つ様は圧巻です。アサギマダラの追跡調査のためにマーキングして放蝶します。 定員15名 自然観察</p>
<p>○南光河原 水生生物(カジカガエル)観察会 開催日：7月2日(土) 9:00～12:00頃 会場：南光河原周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>涼やかな鳴き声が初夏の南光河原で聞こえます。カジカガエルはなかなか姿を見るのが難しいカエルですが、声を頼りに探してみましょ。オタマジャクシは見つかりますよ。川の中も探してみましょ。 定員15名 自然観察</p>



■大山のキャンプ場について■

大山登山口に近い「下山キャンプ場」と「豪円山キャンプ場」は、20年度から再整備が行われており、「豪円山キャンプ場」は22年度も引き続き閉鎖しております。「下山キャンプ場」につきましては、運営等事業実施者である株式会社モンベルか環境省大山隠岐国立公園管理事務所にお問い合わせください。

【大山周辺のキャンプ場】 ※有料

- 森の国 いこいの森キャンプ場(大山町赤松)
- 夕陽の丘 山香荘 神田キャンプ場(大山町加茂)
- OFBI DAISEN-First class Backpackers Inn.(伯耆町小林)
- ODACG 大山オートキャンプ場(伯耆町福兼)
- 休暇村奥大山 鏡ヶ成キャンプ場(江府町御机鏡ヶ成)

※詳細は各キャンプ場へ直接お問い合わせください。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
 大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

